

憲法  
活かし

# 大軍拡・大增税ストップ! 戦争の心配のないアジアへ

—反戦平和つらぬく日本共産党—

平和も憲法も壊し、国民に大增税を押しつける大軍拡の暴走をあらわに、岸田自公政権は、昨年12月、歴代政権が違憲としてきた敵基地攻撃能力（「反撃能力」）の保有などを明記する「国家安全保障戦略」など安保3文書を閣議決定しました。「統一協会との癒着」など、相次ぐ大臣の辞任に追い込まれた岸田内閣は、それらの真相と疑惑の解明から逃げる一方、憲法違反の「戦争国家」づくりへ踏み出しました。

日本共産党は、広範な国民と力を合わせ、市民と野党の共闘再構築で、憲法活かし戦争の心配のないアジアと日本をめざします。

2023年1月1日

日本共産党

## 新春のつどい

2023年2月11日(土・祝)午後2時～  
福祉会館3階講座室A-B

ご挨拶

日本共産党国会議員

佐野太一 日本共産党取手市委員会  
ジェンダー平等推進室長



関戸 勇市議会議員

加増みつ子市議会議員

遠山ちえ子市議会議員

小池えつ子市議会議員

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、大変お世話になり有難うございました。

参院選、県議選では、力およばず残念な結果となりました。

今年、岸田政権の安全保障政策の大転換について、通常国会での本格論議が行われる中で、全国統一地方選挙（取手は、市長選挙・市議会議員補欠選挙）が行われます。

日本共産党は、子育て老後に希望と安心、くらしと営業・経済の再生へ、藤井市政の転換、市民の声で市政を動かす強固な党市議団の確立へ全力を尽くします。

合わせて、岸田政権の「戦争国家づくり」を許さない草の根からの運動を広げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

二〇二三年元旦

日本共産党取手市委員会  
日本共産党取手市議団

県議選での温かいご支援・ご協力  
ありがとうございました。

「全国8位の財政力を市民のくらしに」「自民2議席独占ストップ」を訴え、また、カウンセラーの経験をいかし「人に寄り添う政治を」を掲げ、多くの方々

に共感いただきましたが、必要な得票数に届かず、ご期待に添えることが出来ませんでした。

心機一転、掲げた公約の実現に皆さんと力合わせ  
全力を尽くして参ります。



日本共産党  
佐野太一

明るい取手

2023年1月1日

発行／日本共産党取手市委員会 日本共産党の見解を紹介します。  
取手市井野 3-19-5 ☎ 0297-72-7816 info@toride-jcp.com





# 物価高から暮らしと経営守る施策で地域経済再生を



関戸 勇 市議



加増みつ子市議



遠山ちえ子市議



小池えつ子市議

## 日本共産党取手市議団

12月定例市議会は、臨時国会会期末、茨城県議会議員選挙が行われる中、11月29日に開会。中小企業・小規模企業振興基本条例など新規条例を可決し、12月13日に閉会しました。

### 中小企業振興基本条例可決・成立 地域経済再生への第一歩に

12月議会で全員賛成により可決成立した「取手市中小企業等振興基本条例」は、日本共産党市議団（団長：関戸勇）が繰り返し制定を求めてきたものです。

条例は「中小企業及び小規模企業が…果たす役割の重要性に鑑み…

市の責務等を明らかにする…」ことを目的とし、第5条市の責務に「市は…中小企業等の振興に関する施策を総合的かつ計画的に策定し、実施する」と定め、第11条には、市に対し、施策の実施に必要な財政上の措置を求めています。

#### ■実効ある条例へ 推進体制と財政を

条例の議決に当たり日本共産党小池えつ子市議は、「条例を、実際に役立つものとする。条例3条（基本理念）の『行政、企業、商工会、金融機関等及び市民相互の連携・協力して推進する』との具体化として『中小企業振興会議』などの体制の確立を求

め、国内企業の99.7%、働く人の7割を占める中小企業が経済の力ぎをにぎっています」と強調し、賛成討論しました。

大規模事業者呼び込み型の産業政策からの脱却、地場の中小企業振興策優先への転換が必要です。



### 民主主義の根幹が危うい 県議選過去最低の 低投票率

12月11日投票の茨城県議会議員選挙の投票率は、県合計38.54%（取手市32.8%）と過去最低でした。

民主政治の根幹である選挙で、6～7割の有権者が投票しない（出来ない）危機的状況を放置することは見逃せません。

低投票率は、政治不審、政治的無関心層の拡大などで、かたづけられません。

市はこれまで、期日前投票と引き換えに投票時間短縮、選挙公報配布の矮小化、投票啓発に消極的、新たに宅地化された人口増加地域での投票所増設の検討すら行わず放置。投票率向上への行政の務めを怠るばかりか、投票権の平等という権利保障も蹂躪しています。

### 投票率アップへ 投票環境の改善求め要請 日本共産党

昨年11月、日本共産党は、取手市選挙管理委員会に対し①投票所と期日前投票所の拡充、②選挙公報の全有権者への早期配付、③広報・宣伝の抜本強化を求めました。市には、改善の努力すら見られませんでした。

12月議会には、全有権者への選挙公報配付を求める決議案の提出（無会派）もあり、遠山ちえ子市議が賛成討論を行いました。が、自民などの反対で否決されました。

### 選挙公約の実現へ 市民と力あわせて署名運動を広げています

#### ■学校給食無料化求める署名

「コロナ禍」と物価高から子育て世代の暮らしを守り、義務教育は無償との憲法理念を生かして全国各地・県内

で、給食無料化が進んでいます。水戸市でも中学校給食の来年度からの無料化を明らかにしました。

#### ■国保税・後期高齢者医療保険料の引き下げを求める署名

取手市国保会計は、昨年を超える大幅黒字を予測し本年度末の基金総額を47億円と見込みました。

過大な基金の積み立てやめ国保税の中小企業労働者なみ引き下げを求めます。

後期高齢者の窓口負担2倍化の中止と保険料の引き下げを求めます。

12月議会で、加増みつ子市議は国保税の均等割廃止・引き下げを求めました。

